

首都機能バックアップ体制の構築について

【担当省庁】 内閣府、国土交通省、観光庁、文部科学省、文化庁

巨大災害により首都圏が被災した場合に備え、国全体の安心・安全の確保のため、首都機能を関西全体で分担してバックアップすることを前提として、国において以下の検討をお願いいたします。

提案

1 皇室の安心・安全

- 日本の大切な皇室の安心・安全と永続を実現するために、皇室の方々に京都にお住まいいただき、御活動していただきたい。

2 文化財アーカイブセンターの整備等

- 文化財（建造物）が被災・損傷した際に、元の姿に復元するための機能を備えた**文化財アーカイブセンターの整備**を図っていただきたい。
- 関西文化学術研究都市地区に立地する国立国会図書館関西館と東京都に位置する本館との**デジタルアーカイブ化電子コンテンツの構築事業を拡充**していただきたい。

3 文化庁、観光庁の京都移転

- 我が国の文化財の宝庫である京都に**文化庁を移転**していただきたい。
- 文化庁移転までの間、**関西分室を平成 26 年度以降も継続設置**していただき、**機能強化や体制強化**を図っていただきたい。
- 国の機能分散を図るとともに、国内外への情報発信力を飛躍的に高め、観光立国を加速させるため、**京都に観光庁を移転**していただきたい。

平成24年6月 京都府・京都市 共同提案項目

▶ 国立国会図書館資料デジタル化の状況（平成22年度末）

- 平成21年度補正予算（デジタル化経費127億円）により、和図書、和雑誌、博士論文、古典籍などのデジタル化を実施

資料種別	所蔵数(A)	デジタル化 実施済(B)	デジタル化 未実施	実施割合 (B/A)
古典籍	29万冊	7万冊	22万冊	1/4
和図書	411万冊	90万冊	321万冊	1/5
和雑誌	436万冊	114万冊	322万冊	1/4
博士論文	39万冊	14万冊	25万冊	1/3
合計	915万冊	225万冊	690万冊	1/4

【京都府の担当部局】

政策企画部	戦略企画課	075-414-4334
文化環境部	文化政策課	075-414-4217
商工労働観光部	観光課	075-414-4841

<参考>

◆ 京都の未来を考える懇話会 第一次提案（抜粋）平成24年3月12日

世界の文化首都・京都

京都文化の裾野を拡大し、多くの人材が活躍する文化の都を実現します。首都機能のバックアップの必要性が高まるなかで、皇族の一部を京都にお迎えするとともに、文化庁、観光庁機能を京都が担います。

- ✓ 文化庁、観光庁の京都移転（日本文化の中核都市・京都が、日本文化の継承と発展を支え、日本観光の充実強化を牽引）

（京都の未来を考える懇話会構成メンバー）

- 山田 啓二（京都府知事）
- 門川 大作（京都市長）
- 立石 義雄（京都商工会議所会頭/京都商工会議所連合会会長）
- 松本 紘（京都大学総長）
- 柏原 康夫（京都府観光連盟会長/京都市観光協会会長）
- 池坊 由紀（華道家元池坊次期家元）
- 白石 方一（京都新聞社代表取締役会長兼社長）